

『絶対褒められるスカーフアレンジ簡単テクニック集』

【インナー結び】



①スカーフを裏に向けて真ん中をつまんで、ゴムやシュシュで結ぶ

②結び目を内側にして、表むきに対角線に沿って半分に折る

③三角状に整えたら正面にかけ、両端を首の後ろで結ぶ

【ネックレスハーフリボン結び】



①裏を上にして一つの角を半分より少し上まで折る

②もう一方の角を①の上にくるように折る

③両方の折り目をもう半分におる

④さらにもう一度おる

⑤最後に両端をあわせるようにおる

⑥首にかけ、左右それぞれ首に近いところで結び目を作る

⑦結び目の下のスカーフで片リボン結びをする

『絶対褒められるスカーフアレンジ簡単テクニック集』

【ネクタイ結び】



- ① 対角線の角を持ち首に掛ける
- ② 左右どちらかに一つ結び目を作る
- ③ 反対側のストールを結び目の上から通す

【ツイストチョーカー巻き】



- ① 裏を上にして一つの角を半分より少し上まで折る
- ② もう一方の角を①の上にくるように折る
- ③ 両方の折り目をもう半分におる
- ④ さらにもう一度おる
- ⑤ 最後に両端をあわせるようにおる
- ⑥ スカーフの左右の先端から15cmくらいのところをそれぞれ持ち、ねじる
- ⑦ ねじった部分が崩れないように首に二重に巻く
- ⑧ 残ったスカーフは右を上クロスして上のスカーフを二重にしたスカーフの内側から外側にかける

『絶対褒められるスカーフアレンジ簡単テクニック集』

【エレガントアフガン結び】



- ①三角に折って羽織る
- ②片側に一つ結び目を作る
- ③結んでいない反対側のスカーフで輪を作り結び目の下から通す
- ④左右どちらかにすらす

持っていると便利なスカーフの種類

- ①スクエア 縦横比が同じもの 88～90の正方形
 - ②ロング 縦横比が違うもの 30～50×130～160
 - ③プチ 66cm以下
- 他 大判ストール

『絶対褒められるスカーフアレンジ簡単テクニック集』

スカーフ・ストールの活用法

1. 女性の大敵、体の冷えや紫外線から守る

首周りを温かくするのに巻物は欠かせません。

大判ストールなどは座っている時のひざ掛けになり、カーディガンやジャケット代わりに也成了り、巻き方次第で温かさも調節できます。冷えだけではなく、紫外線防止にも役立ちます。

2. 自己演出、自己表現ができる

その日、その時によって、可愛らしくも大人っぽくも格好良くも見せたい自分をファッションテイストごとに演出、表現する事ができます。

3. 1枚の服が何通りかに表情を変えられる

巻き方、結び方によってオケージョン別対応が可能です。例えばオフィス対応にはシンプルな巻き方、アフターファイブでの食事の席には、着替えなくても同じもので巻き方を変える事によって、華やかさを演出できます。

巻き方の違いだけではなく、巻き物の種類を変えれば、同じ洋服でもまた違った表情で装いを輝かせることができます。

4. 視覚効果によってスタイルアップできる

まずは、自分の顔に似合う色なのか、顔映りのいいものを選びます。そして巻き物を垂らすだけでIラインができ背を高くみせたり、すっきり見せたりします。首周りなど高い位置でボリュームを出せば、小顔効果にもなります。

5. スカーフコミュニケーションができる

巻き物の色柄が素敵！巻き方が素敵！この素敵！によってどのように巻いているの？どのように結んでいるの？と話のきっかけになり、コミュニケーションが生まれます。

『絶対褒められるスカーフアレンジ簡単テクニック集』

スカーフ・ストールの選び方

①まず大前提として、顔周りに一番近いので自分に似合う色を持ってくる。つまり自分のパーソナルカラーを知って、その似合う色の中で顔を明るく華やかにしてくれる色をもってくるといいです。とはいえ、スカーフは多色使いのものが多く、しかもパーソナルカラーのルールを無視しています。ですから、似合う色だけにフォーカスしてしまうととても難しいので、似合う色が広い面積に使われていればOKと考える。その多色の中でアクセントとなる色が自分の似合う色であればOKと考えます。

② あまり使い慣れていない方は、無地に近いプリント柄をお持ちになるといいと思います。ベーシックなもの、例えばチェック、ストライプ、ドットなど。大柄よりは細かい柄がおススメ。

③ 縁のあるもの。スカーフは結んだときに目立つのは縁の部分。そこに色がきちんと入っているものを選ぶとアクセントとなり全体の印象がキリリと引き締まります。

④ 無地の服ならば、その服の色が入っている

⑤ 柄の服ならば、その服の中に入っている1色か2色でシンプルなもの

⑥ 広げた全体をみるのではなく、首に巻いた時を想定して軽く折って見る。その時どんな柄がでているのか、どんな色が出ているのか確かめる

このような事を基準に選ぶといいと思いますが、でもルールにとらわれないで自由な発想で選ぶのも楽しいですね。

そして、スカーフは結び方によって、見え方が異なります。着るものや人によって結び目の位置やボリュームなど、ベストな位置が異なりますから、必ず全身鏡でバランスを確認するようにしましょう！